

いわて生活協同組合 2020 年到達点と第 10 次中期計画（抜粋）

いわて生活協同組合
常勤理事 阿部 慎二

I. 2020 年度の取り組み

1. 食品廃棄削減・食品リサイクルの取り組み

(1) 事業で排出される食品廃棄物は前年比 70%、17 年度比 66%に削減されました。

食品廃棄実績(トン)	17年	18年	19年	20年
実績	190.2	205.5	179.0	126.0
前年比		108.1%	87.1%	70.4%
17年度比		108%	94%	66%

① 店舗運営・マネジメント上の取り組み

- ・ 店別・部門別・月度別目標を設定し、毎日進捗を確認しています。
- ・ 店舗では毎日、14時のマネジャーミーティングで、午前の進捗と、午後から夜間の客数見通しを確認し、生産計画を修正しています。
- ・ 17時～20時、売れ数を把握しながら段階的に値引きし、廃棄削減に取り組んでいます。

② 商品上の取り組み

- ・ 行催事に対応する商品は事前予約をいただき、廃棄削減を進めています。
母の日、父の日、土用丑の日、敬老の日、クリスマス、年越し・正月、節分（恵方巻）、ひな祭り。
- ・ 土用丑の日のうなぎを真空パックに変更することで廃棄削減を進めました。

(2) いわて生協の店舗でやむを得ず発生した生ごみのリサイクル率は 20 年度 70%。前年差+4%、17 年度差+6.2%に向上しました。引き続き、食品小売業に求められている 55%をクリアしています。

食品リサイクル率	17年	18年	19年	20年
実績	64.0%	65.0%	66.0%	70.2%
前年差		4.0%	1.0%	4.2%
17年差		1.0%	2.0%	6.2%

- ① 盛岡・滝沢店舗の廃棄物は「バイオパワーしずくいし」で堆肥に、アテルイ・花巻あうるの廃棄物は各地域で堆肥に、一関コルザの野菜端材は動物の餌として再利用されています。その他、魚のアラや肉の端材、惣菜の油は飼料や肥料の原料として再利用されています。
- ② 八幡平市、宮古市、一関市店舗の生ごみリサイクルルートの確立が課題です。

2. コープフードバンクの取り組み

(1) コープフードバンクはコープ東北事業連合と協同して、食品企業やメーカーの皆さまより、さまざまな理由で販売が難しくなってしまったけれど、まだ充分食べられるといった食品のご提供をいただいております。食品は福祉分野の施設・団体に寄贈し、有効に活用しています。

(2) 20年度の実績

- ① 施設・団体への提供量 88.9 トン（県内施設・団体への提供量 5.1 トン）。
提供先（施設・団体数）350 団体（県内 12 団体、社会福祉協議会、インクルいわて様等）。
- ② 法人サポーター 109 団体（県内法人 6 団体）、個人サポーター 1,041 人（県内 328 人）。

(3) その他

- ① フードドライブ：店舗・共同購入で利用いただいた商品を寄付いただき社会福祉協議会に寄付する取り組み（9 社会福祉協議会様、3,052 点）。
- ② 子ども食堂割引：店舗お買い上げ金額 2 割引き（20 年度 6 団体、19 万助成）。
- ③ ささえあい募金：子ども食堂への財源支援のための募金（20 年度 62 万円）。

II. 第10次中期計画（2021年～2023年）、2021年度の計画

1. 事業ならびに組合員家庭から生じる食品廃棄の削減を進めます。事業でやむを得ず生じる廃棄物のリサイクル率向上を進めます。

(1) 事業で排出される食品廃棄の削減を進めます。

目標：23年に19年対比で50%削減を目標に取り組みます。

生ごみ廃棄	19年	20年	21年	22年	23年
計画(kg/供給100万)	7.6	5.4	4.7	4.2	3.8
前年比		71%	87%	89%	90%
19年比		71%	62%	55%	50%

① EMS(環境マネジメントシステム)の目的・目標に設定し、進捗管理を行います。

- ・ 目標は原単位(100万当り)とします。
- ・ 21年度基準書を改訂し、計量の精度を高め、店別・部門別の集約を行います。

② 店舗では店別・部門別に削減目標を設定し、週次で進捗管理を行います。

- ・ 生鮮のアイテム削減をすすめ、ロス削減をすすめます。
- ・ 惣菜では生産計画作成や夕方から夜間の売場点検・売り切りの教育をすすめロスを削減します。

(2) 事業でやむを得ず生じた廃棄物のリサイクルを推進します。

目標：食品リサイクル率を23年に75%、20年度差+5%に引き上げます。

食品リサイクル率	20年	21年	22年	23年
計画	70.2%	72.0%	73.5%	75.0%
前年差	4.2%	1.8%	1.5%	1.5%

① 八幡平市、宮古市、一関市店舗のリサイクルルートの開拓を進めます。

- ・ 21年度、八幡平市、宮古市店舗の肉脂のリサイクルをスタートします。
- ・ 21年下期、一関市店舗の廃棄物リサイクルをスタートします。

② 実態調査、分析とお取引先との協議をすすめ、リサイクル品目の拡大を検討します。

(3) 組合員家庭から生じる食品ロスの削減のために、組合員活動での学習や、ハローコープなど広報物を通じたお知らせを行います。

(21年度の計画)

- ① ハローコープ(広報誌)：20万部×年間5回。
- ② わいわいコープ(共同購入利用者への広報誌)：7.7万部×年間5回。
- ③ 共同購入配布チラシ：7.7万部×年間2回。

(4) 調査・検討課題

- ① サプライチェーン全体(製造・加工、卸、輸送、小売り)を視野に入れ、お取引先、産直農家、メーカー等とのパートナーシップによる削減の推進。
- ② 10次中期計画(～2023年)に実態調査と目標設定、取り組みをスタート。

2. コープフードバンクの取り組み

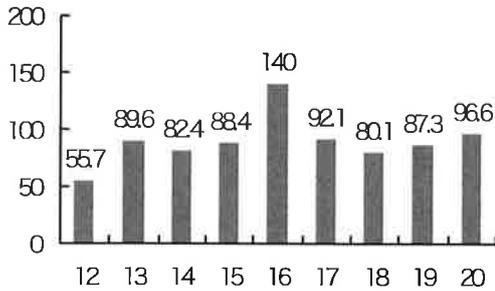
- (1) コープフードバンクは引き続き、運営を支えるサポーターを増やす取り組みをすすめます。
- (2) フードドライブは店舗(7月、11月)、共同購入(10月)で取り組みます。
- (3) 子ども食堂割引、支えあい募金を継続します。支えあい募金は21年度100万円を目標に取り組みます。

以上

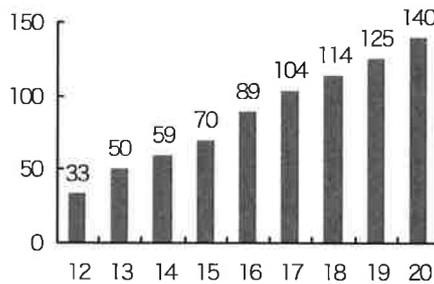
コープフードバンク 2020 年度活動報告

多くの皆様方のご支援・ご協力のもと2020年度も活動ができました。ありがとうございました。

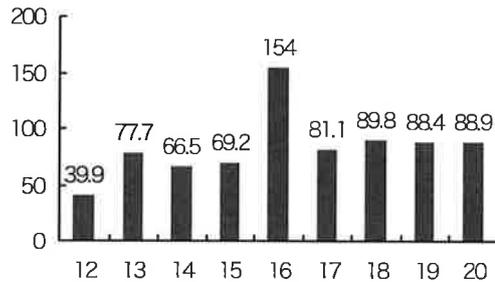
● 企業などからの受け入れ量(t)



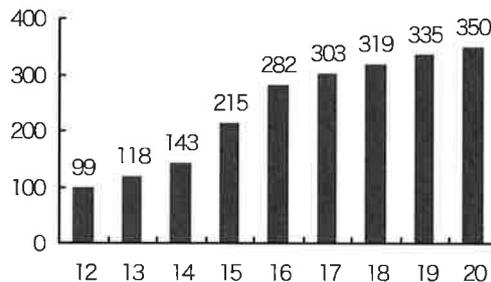
● 提供企業数(社)



● 施設・団体への提供量(t)



● 施設団体数(団体)



■ 法人サポーター

2020年度 109団体 131口

■ 個人サポーター

2020年度 1041人 1502口

■ TOPICS



20年度から株式会社鐘崎様よりかまぼこ類を寄贈いただける運びとなりました。提供先の施設様より感謝のお手紙も届いております。



21年1月22日(金)、仙台ターミナルビル株式会社様より、冷凍いちご300kgを寄贈いただきました。提供先では、甘くておいしいと大評判でした。

2020年度の 収支報告

収入

- サポーター賛助金
 - ・法人：392万円
 - ・個人：150万円
- 寄付・募金 350万円
- 助成金(宮城県・赤い羽根共同募金会) 117万円
- 各会員生協からの拠出金 1,131万円

合計：2,140万円

支出

- 人件費： 677万円
- 物件費： 1,134万円
- ・倉庫・事務所費 826万円
- ・事務関連費 158万円
- ・車両・燃料費 143万円
- ・広報その他 7万円

合計：1,811万円

■ 各県の提供先(施設・団体数)

各県毎の状況	児童養護施設	児童福祉	シェルター	路上生活支援	生活困窮者支援	障がい者支援	社協	自立支援	被災者支援	行政	フードバンク	子ども食堂	合計
青森県			2		1		41	1				1	46
秋田県			2		4		12	3				1	22
岩手県					1		8	1				2	12
山形県			1		2		10	1		1		1	16
宮城県	4	5	5	4	54	37	18	7	16	2		17	173
福島県	2				7	7	58	5	1	1	4		81
合計	6	5	10	4	69	44	147	18	17	4		21	350